

2月 19-25 日

詩編 8-10 編

2番の歌と祈り | 開会の言葉（1分）伊藤勇一 | 有田悟

神の言葉の宝

1. 「エホバ、あなたを賛美します」 （10分）田中克彦

エホバはたくさんの良いことをしてくれている。 (詩 8:3-6。塔研 21.08 3 ページ 6 節)

エホバが行った素晴らしい事柄について他の人に伝えることで、エホバを心から賛美できる。 (詩 9:1。塔研 20.05 23 ページ 10 節)

心を込めて歌うことによってもエホバを賛美できる。 (詩 9:2。塔研 22.04 7 ページ 13 節)



考えてみよう 「ほかにもどんな方法でエホバを賛美できるだろうか」。

2. 宝石を探し出す（10分）星 延宏

詩 8:3 あなたが指で造った天を仰ぎ、 あなたが並べた月や星を眺めて思う。

詩編作者はどういう意味で神の「指」と言ったか。 (洞-2 1059)

比喩的な意味で、神はご自分の「指」で業を成し遂げられると言われています。その例としては、①石の書き板に十戒を書き記すこと (出 31:18; 申 9:10)、②奇跡を行なうこと (出 8:18, 19)、③天の創造 (詩 8:3) があります。創造の活動の際に用いられた神の「指」が神の聖靈、すなわち活動する力を指しているということは、創世記の創造の記録から分かります。そこでは、神の活動する力（ルーアハ、「靈」）が水の表を動いていたと述べられています。 (創 1:2) とはいえた、クリスチャン・ギリシャ語聖書はこの象徴的な用法を確実に理解するかぎとなっています。マタ

イの記述ではイエスが『神の聖霊』によって悪霊たちを追い出したと説明されており、ルカの記述ではそれが「神の指」によって行なわれたと述べられています。—[マタ 12:28; ルカ 11:20](#)。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

(詩編 10:4) 悪人は傲慢で、調べることをせず、「神などいない」と決め付ける。

この聖句は邪悪な者でも聖書を調べるなら変化できることも教えてくれる。残されている時間が少なく誠実な人々を探すことを優先するが、どんな人に対しても聖書とエホバについて調べる機会を提供するために、あらゆることを試していきたいと思います。

3. 聖書朗読（4分）詩 10:1-18（教励 第 11 課）有川 聖七

野外奉仕に励む

4. 会話を始める（3分）家から家で。家人から、神を感じていないと言われる。[（愛込 レッスン 5 ポイント 4）中田 由美 愛 5-4 布川 志津](#)

5. 再び話し合う（4分）日常生活で。前回神を感じていないと言ったものの、創造者がいる証拠については話し合う気持ちがある人と会話する。[（教励 第 7 課）小島 奈帆美 教7 安斎 麻理](#)

6. 話（5分）[塔研 21.06 6-7 ページ 15-18 節](#) 主題: エホバを賛美できるよう、聖書を学んでいる人を助ける。[（教励 第 10 課）五味 統](#)

クリスチャンとして生活する

10 番の歌

7. 日常生活で聖書について自然に会話する（10分）討議。[長谷川 瑛一](#)

エホバを賛美する機会を増やすために、毎日の生活で出会う人たちに聖書について話すことができます。[（詩 35:28）最初は少し緊張するかもしれません。でも自然に会話を始めて続けることが分かれば、会話を楽しめるようになるでしょう。](#)



「『平和の良い知らせを伝える』自分から話し掛ける」の動画を再生する。次の質問をする。

日常生活で良い知らせを伝えるのに役立つどんなヒントを学べましたか。

(気負わずに身近なことに話す。「ネクタイしてお出かけ?」JWのこと初めて聞いたみたい。)

会話を始めるためにできること

- 外出している時、会話を始める機会を探す。誠実な人に会えるようにと祈る。
- 相手のことに関心を持ち、フレンドリーに話す。相手をよく知るようにし、聖書のどんな点に興味を持ちそうか考える。
- できれば連絡先を交換する。
- 聖書について話す前に会話が終わってしまってもがっかりしない。
- 会話の後もその人について考える。聖句やjw.orgの記事のリンクを送って、気遣いを示し続ける。

やってみよう 「週末どうだった?」と聞かれたら、集会で学んだことや聖書レッスンをしたこと話をす。

8. 会衆の必要 (5分) 水品 安章

9. 会衆の聖書研究 (30分) 徹6章1-8節、セクション2の紹介 滝秀貞 朗読: 河野正和

閉会の言葉 (3分) | [65番の歌](#)と祈り 浮田 蒼

[\(詩8:0-10:18\)](#) 指揮者へ。ギテト*で。ダビデの歌。8私たちの主エホバ、あなたの名ほど莊厳なものは地球のどこにもない。あなたはこの上なく尊い方*。2あなたは、幼い子供たち*の口から出る言葉によって敵対者に強さを明らかにした。敵や復讐者を黙らせるため。3あなたが指で造った天を仰ぎ、あなたが並べた月や星を眺めて思う。4死にゆく人間が何者なのであなたは心に留めてくださるのか。人の子が何者なので気に掛けてくださるのか。5あなたは、人を神のような者*たちより少し劣る者とし、栄光に輝く冠を授けた。6そして、ご自分の手で作ったものを治めさせ、全てのものの上に立たせた。7羊やヤギ、牛、野生動物、8空の鳥、海の魚、海の道を旅するあらゆる生き物の上に。9私たちの主エホバ、あなたの名ほど莊厳なものは地球のどこにもない。

指揮者へ。ムト・ラベン*で。ダビデの歌。9エホバ、心からあなたを賛美します。あなたの素晴らしい偉業全てを語ります。2私はあなたのこと喜び、歓喜します。至高者よ、私はあなたの名を賛美して歌います。3私の敵は退却する時、あなたの前でつまずいて滅びる。4あなたは私の正しい訴えを聞き入れてくださる。王座に座って公正に裁く。5あなたは人々を叱責し、悪人